



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.cccb.co.jp/>

2017年11月16日

報道関係 各位

児童虐待防止ポスターがまちを見守る 釧路管内100台の自動販売機に児童虐待防止ポスターを掲示 ～釧路警察署との協働の取り組み～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社：札幌市清田区 社長：佐々木康行)は、2017年11月18日に釧路警察署と協働して、児童虐待防止ポスターを釧路管内の自動販売機100台に取り付ける掲式を執り行います。

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。

いちはやく 知らせる勇気 つなぐ声

●児童虐待とは…？

- 身体的虐待**：殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく推さぶる、やけどを焼かせる、濡れさせる など
- 性的虐待**：子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの閲覧にする など
- ネグレクト**：家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など
- 心理的虐待**：言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV) など

子どもや保護者のこんなサインを見落としていませんか？

- 子どもについて
 - いつも子どもの泣き声や保護者の怒鳴り声がする
 - 不審な事件・事故の目撃者となる
 - 夜寝かだかたつくりしている、異常な音が聞こえたりする
 - 言葉が支離滅裂、話さない、数語まで一人で話している
- 保護者について
 - 夫婦などの仲がうまくない
 - いびきや大声で話している
 - 子どもの服装や髪型に異常がある
 - 子どもの言葉に聞いていない、無視している
 - 子どもの顔について不自然な表情をする

子どもを健やかに育むために 一層の隠せ口作戦～

- 子育てにおいて、しつけやルール、思いやりや礼儀作法を伝えることは、子どもの成長に不可欠です。
- 子どもが健やかに育むためには、子どもが安心して話せる場所、子どもが安心して話せる場所、子どもが安心して話せる場所。

●子育てに体験や練習を促さない
●子どもが健やかに育つとSOSを伝えられない
●保護者のサインや言葉が伝わらない
●自分自身がSOSを出さず
●子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援

※ 出産や子育てに関する悩みや質問がある方は、児童相談所・市町村へお気軽にご相談ください。 ※

あなたの1本のお電話で救われる子どもがいます。 虐待を受けたと認められる子どもがいたら、 ご自身が子育てに悩んだら、 子育てに悩む人がいたら、

189 児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。
連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。
お住まいの地域の児童相談所につながります。※一部のIP電話からはつながりません。※

厚生労働省

この取り組みは、現在、親などによる子どもの虐待が深刻な社会問題になっているなか、「すべての児童は、心身ともに健やかに生まれ、育てられ、その生活を保障される」と児童憲章に謳われているように、すべての子どもが虐待を受けずに、健やかに成長できる社会を目指すことを目的に、厚生労働省が11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、釧路警察署と当社が協働で児童虐待防止啓発に取り組むもので、釧路管内で人目に触れやすい場所に設置している100台の当社自動販売機にポスターを掲示し、注意喚起を促すものです。

※同様の取り組みを帯広警察署とも協働し、2017年11月14日(火)に帯広市内で実施いたしました。

つきましては、この活動に関わる掲式を以下の通り開催致しますので、何かとご多忙とは存じますが、取材を賜りますようよろしくお願いいたします。

■「児童虐待防止ポスター」掲式

- ・開催日時：2017年11月18日(土) 11時00分より
- ・開催場所：イオン釧路店様 駐車場(釧路町桂木1丁目1-7)
- ・出席者名：北海道釧路総合振興局 保健環境部児童相談室長 米田 浩二 様
北海道警察釧路方面釧路警察署 生活安全課長 加藤 創 様
当社 営業統括本部第二本部 地域連携担当部長 黒木 聡
- ・主 催：北海道警察釧路方面本部生活安全課

※掲式終了後、児童虐待防止啓発ポケットティッシュの配布をいたします

<参考> (北海道警察との取り組み)

①防犯ほっとインフォメーション

2007年、北海道警察と連携し、地域の防犯意識を高め、安全・安心な地域づくりを目指すため、全66所轄警察署と「電光掲示機能付自動販売機による協働事業に関する協定」を締結し、防犯広報、事件情報等の発信を行っています。具体的には、当社の電光掲示板付き災害対応型自動販売機を活用した協働事業「防犯ほっとインフォメーション」を展開しております。北海道警察からの情報をリアルタイムで配信でき、警察署や街頭等、約300台が設置・運用されています。



②子どもの安全を見守る運動

2006年、「大人だけが子どもを守る事が出来る」というコンセプトのもとで、官民が一体となり「子どもを見守る運動」を推進することを北海道に提案し採択されました。この運動はさまざまな啓発要素を吸収し「安全・安心ださんご運動」に発展しました。当社グループでは全900台の車両にステッカー掲示するほか、通学見守りボランティアを通じて子どもたちの安全を見守っています。



③「飲酒運転根絶」ポスター掲示

2015年、北海道警察が制定した「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」により、北海道全域の警察署と連携して、飲酒運転根絶啓発に取り組み、注意喚起するものです。安全で安心して暮らすことのできる社会が実現されることを目的として、北海道全域で約3,000台の当社自動販売機にポスターを掲示しました。



④「特殊詐欺被害防止」ポスター掲示

2017年、特殊詐欺事件が全国的に増加を続け、過去最悪のペースで被害が拡大し、個々の被害の高額化傾向が顕著となっていることから、身近なところから特殊詐欺被害の防止を図ることを目的に、北海道警察が取り組む特殊詐欺被害防止対策の一環として、当社と北海道警察本部と札幌市立大学が協働で取り組んでいます。現在、北海道全域で約1,000台の当社自動販売機にポスターを掲示しています。



⑤「児童虐待防止」ポスター掲示

2017年、親などによる子どもの虐待が深刻な社会問題になっているなか、すべての子どもが虐待を受けずに、健やかに成長できる社会を目指すことを目的に、厚生労働省が11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、帯広警察署と当社が協働で児童虐待防止啓発に取り組むもので、十勝管内で人目に触れやすい場所に設置している約50台の当社自動販売機にポスターを掲示し、注意喚起を促しています。



当社は「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として北海道の魅力をさらに高める活動を推進するために、地域課題解決への協力や次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社広報・CSR推進部 竹内

TEL011-888-2091